

名古屋大学医学部附属病院

病院長名	丸山 彰一
所在地	〒466-8560 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地
交通案内	JR 中央線「鶴舞駅（名大病院口）」下車 徒歩 3 分 名古屋市営地下鉄「鶴舞駅」下車 徒歩 8 分

□ 病院の特徴

名古屋大学では従来より、卒前から卒後に至る一貫した臨床医学教育を実現するために、『総合医学教育センター』を設置するとともに、2008 年度からは、初期研修後の専門医育成も支援するために、『卒後臨床研修・キャリア形成支援センター』として機能充実を図り、研修サポート体制の拡充を行った。これにより、名大研修の特徴である関連病院と密接に連携した質の高い臨床教育をより円滑に推進できるようになった。すなわち、2 年間の初期研修のみならず、後期・専門研修のキャリアパス整備とキャリア形成の積極的支援など、後期研修や専門研修においても、病院として責任を持った体制が確立したと言える。各種教育ツールを一括管理してシミュレーションによるトレーニングを進めるとともに、OJT（On the Job Training）を重視して臨床手技の習得が速やかに行われるように力を注いでいる。

□ 研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

名古屋大学泌尿器科専門研修施設群専門研修プログラム

【研修目標】

高度の泌尿器科専門知識・技能とともに地域医療にも対応できる臨床能力を修得した泌尿器科専門医を育成する。

【研修期間】

4 年

【研修スケジュール】

名古屋大学泌尿器科専門研修プログラムでは、専攻医の研修は毎年の達成目標と達成度を評価しながら進める。4 年間のうち 6 ヶ月～1 年間の研修を研修基幹施設（名古屋大学医学部附属病院泌尿器科）で行い、希望があれば研修 4 年目から大学院に進学することができる。基本的には 4 年間の専門医研修期間中、1 年次は連携施設で、2 年次以降の 6 ヶ月～1 年間を基幹施設である名古屋大学医学部附属病院で、さらにその後は他の連携施設において専門研修を行い、専門医の取得を目指す。詳細な研修スケジュールについては、名古屋大学泌尿器科ホームページ参照（<https://urology-nagoya-u.jp>）。



ダ・ヴィンチによるロボット支援手術の現場



□ 主な連携施設

日本赤十字社愛知医療センター（名古屋第一病院、名古屋第二病院）、国立病院機構名古屋医療センター、国立長寿医療研究センター、地域医療機能推進機構中京病院、名鉄病院、中部労災病院、市立四日市病院、県立多治見病院、小牧市民病院、春日井市民病院、一宮市立市民病院、豊橋市民病院、岡崎市民病院、半田市立半田病院、刈谷豊田総合病院、公立陶生病院、成田記念病院、八千代病院、愛知医科大学病院

□ メッセージ

指導医（教授・赤松 秀輔）

泌尿器科は小児から高齢者まで、男女幅広い患者層を扱い、治療には外科手術のほか薬物治療などの内科的治療が含まれます。また、泌尿器科は先天異常、感染症、泌尿器癌、排尿機能障害、女性泌尿器科、男性不妊や性機能障害、外傷のほか、腎機能不全に対する腎移植など幅広い領域に対応することが求められ、手術内容も開腹、開胸を伴う大きな開創手術から、内視鏡手術、腹腔鏡手術など



多彩な治療手技を行います。このように昔マイナー科と呼ばれた泌尿器科は、現在ではメジャー科の代表となっています。さらに、特に泌尿器科の大きな特徴は、検査から治療まで一貫した診療を行うことです。名古屋大学泌尿器科専門研修プログラムでは、名古屋大学医学部附属病院を基幹施設として、約 27 の連携病院があり、年間手術件数は 1 万 3 千件を数え、手術支援ロボットのダ・ヴィンチは 19 病院に設置され、Common disease の診療以外に、ロボット手術、腹腔鏡手術、腎移植、女性泌尿器科、小児泌尿器科、癌化学療法、男性不妊症、性機能障害などの専門診療の知識と技術を習得するための設備と教育体制が整備されています。また、臨床での修練以外に、臨床研究や基礎研究、海外留学なども貴重な経験です。当研修プログラムは、泌尿器科領域のすべての疾患に対応できる知識と技術を持ち、さらに研究マインドも兼ね備えた質の高い泌尿器科医の育成を最も重要な役割と考えています。

□ 募集要項

・採用予定人数	10 人程度
・給与／月額	月額約 22 万円に加え、該当する場合に手当（通勤手当、超過勤務手当、夜勤手当、特殊勤務手当（夜間診療業務手当等）を支給
・当直回数／月	約 2-3 回／月（基幹施設：名古屋大学病院）
・当直料／回	20,000 円／回
・その他	平日日勤帯の外勤等（週 1 日まで）可
・応募連絡先	担当者 石田 昇平（医局長） 電話番号 052-744-2984／2985 E メール urology@med.nagoya-u.ac.jp